

高齢者ふれあい給食とワイワイ事業



【山吹学区】

■世帯数：5,160 世帯

■人 口：10,049 人

■面 積：0.928km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・対象者の家庭を回り、開催を案内している。
- ・必要に応じて、専門家に依頼してアトラクションを実施する。
- ・学校、公的機関、園児児童の協力を得て行事を実施している。
- ・費用は一部参加者負担、学区と社会福祉協議会からの助成金で会を運営している。
- ・会場は山吹コミュニティセンターおよび山吹小学校。
- ・参加者は延べ約 470 人。

①「高齢者ふれあい給食会」

一人暮らしの高齢者を対象に年 4 回開催。

②「ワイワイ事業」

高齢者世帯を対象に年 4 回開催。

【住民への PR 方法】

チラシの各戸配布

【アピールポイント】

ワイワイ事業を積極的に行っている。アトラクションのため、主催者も勉強し、知識を高めているほか、幅広い講師たちとの繋がりができた。

2 きっかけ、背景

昭和 61 年に福祉推進協議会を立ち上げてから実施。一人暮らし高齢者のふれあい給食及び高齢者世帯を対象とするワイワイ事業を実施。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生児童委員、保健委員、PTA、
女性団体・女性会、子ども会、老人
クラブ、スポーツ推進委員
計約 100 人

(2) 他団体との協力

山吹小学校、手話もみじ、警察、
消防署、区役所、区社会福祉協議会

(3) 運営協力

学区連絡協議会において運営者や
参加者を呼びかけている。

4 実施のスケジュール

S61 年 9 月 山吹福祉推進協議会を設立

H17 年 4 月 ワイワイ事業を開始
以降は年間計画を立て、ふれ
あい給食会は年 4 回、ワイワ
イ事業は年 4 回実施してい
る。



5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・参加者の増加、住民意識の高まり、住民間の交流の深まり。
- ・一人暮らし高齢者への配慮は多くあるが、高齢者世帯に対してはあまりないので、とても喜ばれ、福祉が一步前進した。

(2) 苦労した点

- ・参加者を確保することや、住民の理解を得ること、他団体との協力を苦労した。

(3) 今後の課題・展望

- ・活動の継続が課題。参加者の自己負担増加は、事業継続の危機につながる。
- ・高齢者人口が増加すると、対応する世話係の確保が問題となる。ボランティア精神をいかに育むかが問題。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・高齢者世帯へのふれあいの場も考慮してみてもどうでしょうか。